

平成 27 年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込み

1. 基本方針

今般の経済情勢は、国の経済浮揚施策等を背景に、景気の上向き傾向が見えてはいるものの、国・地方を通じた厳しい財政状況もあり、シルバー人材センターを取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。

少子高齢社会が進展し、団塊世代が 65 歳に達し労働市場から本格的な引退過程に入らる中で、国においては、高齢者が定年退職等で現役から引退した後も、健康で意欲と能力がある限り、年齢に関わりなく地域社会の「支え手」として活躍できる「生涯現役社会」の実現を目指すとの方針が示されております。

高齢者が就業をし、社会参加の場が増大していくことは、人口減を補い、経済の成長や社会保障の安定を図るうえで、必要不可欠なものであり、シルバー人材センターの存在はますます重要性を帯び、その役割・使命はさらに大きくなってまいります。

鹿児島市シルバー人材センターにおいては、これまで「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、各種事業を展開する中で、発注者からの多種多様な要望等に応えるとともに、地域に密着した、親しまれるセンターを目指して、努力してきているところであります。

平成 27 年度におきましては、当人材センターの事業推進の指針ともなる「中・長期計画」を基に、引き続き、「会員の拡大」、「就業機会の拡大」を重要課題として位置づけ、各種事業のさらなる充実・拡大に努めていくこととしております。

主な取り組みとしては、就業開拓スタッフを増員し、事業所や家庭への訪問等により、育児分野、人手不足分野等における指揮命令のある職域での就業機会を開拓するなど、新たな受注の掘り起こしや継続受注を推進してまいります。

また、地域性を生かし、地域に密着した「企画提案方式事業」を引き続き実施するとともに、新たな事業として、親と離れて暮らす子供に代わって、高齢者が必要とするサービスを提供することで、安心・安全な日常生活をサポートし、高齢者の日々の生活に彩りを与える事業を実施するなど、各面から事業を展開してまいります。

また、引き続き、指定管理業務の円滑な運営に努めてまいります。

会員の拡大については、引き続き、就業支援セミナーを開催することとし、外部講師による講演及び会員の就業体験発表を盛り込むなど、より充実した内容にいたします。

2 年目を迎える女性会員の会「ひまわりの会」の充実拡大へ向けた取り組みを行い、会員拡大へつなげていくこととしております。

また、各種研修会・講習会の充実強化を図り、資質向上の取り組み、安全就

業への啓発等を行ってまいります。

当人材センターの事業運営は、事業収益はもとより、国及び市からの補助金が主要財源となっていることから、各種施策の推進にあたっては、安定した経営基盤を確立する必要があるため、そのためには、常に、自らがコスト意識を維持し、英知を集結しながら、効率的で効果的な事務事業の運営に努めることとしております。

今後とも、関係機関のご支援、ご協力をいただきながら、さらなるセンターの発展と魅力あるセンターづくりのために会員、役員及び事務局職員一丸となって取り組んでまいります。

2. 重点事業実施項目

- (1) 就業開拓及び就業率の向上
- (2) 会員の拡大及び資質の向上
- (3) 適正就業の推進
- (4) 事業推進体制の強化
- (5) 独自事業の推進

3. 重点事業の具体的施策

(1) 就業開拓及び就業率の向上

会員の就業能力や経験を生かした就業分野の開拓と、社会のニーズに対応した新規事業の推進を図るとともに、共働・共助の精神で就業率の向上を図ります。

- ① 就業開拓スタッフを増員し、事業所や家庭への訪問等により、育児分野、人手不足分野等における指揮命令のある職域での就業機会を開拓するなど就業拡大の取り組みを展開してまいります。
- ② 住み慣れた地域での高齢者の生活をサポートするワンコインまごころサービスの充実拡大を図ってまいります。
- ③ 会員の多様な就業ニーズに応えるための就業情報の提供を図り、就業率の更なる向上を図ります。
- ④ 会員一人ひとりが就業開拓に努めます。
- ⑤ 就業開拓報奨金制度を活用し、新規契約の増大を図ってまいります。
- ⑥ 各地域で開催されるイベント等を通じて、シルバー人材センターの周知を図り、就業の開拓に努めます。

(2) 会員の拡大及び資質の向上

多種多様な発注者の要望に応えるための人材の確保やセンター事業の活力ある発展を推進していくため、会員の資質向上、就業職種の拡充等を図ることが重要であることから各種研修会、後継者育成の講習会等を開催してまいります。

(会員の拡大)

- ① 広報活動等により入会促進を図ります。
 - ア 市広報紙「市民のひろば」や情報誌などの活用
 - イ チラシ・リーフレットによる広報活動
 - ウ 公共施設、アンテナショップ「おじゃったもんせ」及び「ほほえみサロン」へのチラシ・リーフレットの配置、公用車の車体広告及び横断幕・懸垂幕等による広報
 - エ 「おはら祭り」への参加やボランティア活動によるセンター活動の市民への周知・広報
- ② 10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間の活用を図ります。
- ③ 就業開拓スタッフによる事業所や家庭への訪問等により、会員の拡大を図ります。
- ④ 女性会員の会「ひまわりの会」において、女性会員募集のチラシを製作し配布を行います。また、各地域で開催されるイベント等に参加し、会員の手作り作品等の販売を行う等、元気なシルバー会員をPRし、会員拡大を図ります。
- ⑤ 就業支援セミナーを引き続き開催し、団塊世代等の入会促進を図ってまいります。
- ⑥ 入会説明会や入会相談体制の充実を図ります。
- ⑦ 賛助会員の入会促進を図ってまいります。

(資質の向上)

- ① 会員視察研修を実施し、会員の資質向上と会員相互の交流親睦を図ります。
- ② 接遇や技能向上を目的としたセンター独自の研修会、講習会等を実施し会員の資質の向上を図ります。特に職群班においては、就業に即した実践的な実務の研修やグループ討議等を実施し資質の向上を図ります。
- ③ 職群班等向けに、外部講師による接遇研修を実施し、広く市民に親しまれるセンターとなるよう、会員の資質向上を図ります。
- ④ 新しく入会する会員には、入会説明会においてセンターの趣旨、基本理念、会員の心得、事業の内容等について周知を図ります。
- ⑤ 技能・技術経験者のスキルアップ、職群班の後継者育成、新人研修を実施してまいります。
- ⑥ 地域班会、職群班会において、センターの基本理念などの周知を図るとともに、事業運営状況や事故発生状況等、各種の情報を提供し、会員の意識高揚を図ります。

(3) 適正就業の推進

シルバー人材センターの就業は、「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務にかかる就業」であることを踏まえ、シルバー人材センター事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと適正就業の推進を図ってまいります。

- ① 「適正就業に関する基準運用方針」に基づく適正就業を図ってまいります。

- ② 会員と発注者の理解と協力を求め、更に適正就業を推進します。
- ③ 会員に適正で公平な就業の機会を提供するため、ローテーション就業やグループ就業、又各職群班独自の基準等に従ってより一層の推進を図ってまいります。

(4) 事業推進体制の強化

地域班や職群班の更なる活動を促進するとともに、事務局の課の組織を改編し、事務処理の効率化など組織体制の整備充実を図ります。

- ① 地域班活動は、センターの運営状況や事業の推進状況を会員に伝達することのほか、会員相互の親睦、ボランティア活動等の役割もあることからセンターの情報提供や、レクリエーション活動等を通じて会員の融和と連帯感の高揚に努めてまいります。
- ② 職群班活動の自主的な活動を促進するとともに、今後も状況に応じて職群班の設置を検討してまいります。
- ③ 剪定、刈払、除草の新見積り基準への移行に向けて周知に努めます。
- ④ 就業開拓課を企画事業推進課へ改編し、同課内に派遣就業推進班を配置します。
- ⑤ 就業開拓スタッフによる事業所や家庭への訪問を行い、就業機会の拡大と会員の拡大に努めてまいります。
- ⑥ 各種研修会への参加と先進地視察研修等を実施してまいります。
- ⑦ 受託事業の安定的確保と受注拡大を図り、自主財源の確保に努めます。
- ⑧ 関係機関・団体へセンター支援及び財政的助成の要請活動を行います。
- ⑨ 「中・長期計画」の目標達成に向けて、所管の委員会において分析・検証を行ってまいります。

(5) 独自事業の推進

アンテナショップ「おじゃったもんせ」における会員手作り品の販売、年末物品販売、農産物生産のほか、腐葉土生産・販売に引き続き取り組んでまいります。また、腐葉土で飼育したかぶと虫を活用した環境教育講座等を開催してまいります。

会員の就業機会の拡大に併せ、高齢者の就業にふさわしく、かつ、地域社会に貢献し、生きがいや喜びにつながるように更なる推進を図ってまいります。

4. 一般事業実施項目

- (1) 会員の自主的参加による事業推進
- (2) 「自主・自立、共働・共助」の理念の徹底
- (3) 安全就業の推進
- (4) 普及啓発活動の推進
- (5) 団塊世代等の会員の拡大・就業機会の拡大
- (6) 会員交流の促進及び会員福祉の向上
- (7) ボランティア活動の推進

5. 一般事業の具体的施策

(1) 会員の自主的参加による事業推進

- ① 会員参画による運営体制を確立するため、会報「かごしまシルバーだより」「天保山通信」、「会員のしおり」及び各種研修会、講習会による啓発に努めます。
- ② センターの事業運営をより効率的・効果的に推進するため、専門部会や委員会活動の活性化に努めます。また、主要事業の取り組みの進行管理、課題解決のため理事の役割分担のもと円滑な事業推進に努めます。

(2) 「自主・自立、共働・共助」の理念の徹底

- ① 「自主・自立、共働・共助」の基本理念の浸透を図るため、会報「かごしまシルバーだより」、「天保山通信」、「会員のしおり」及び各種研修会、講習会により啓発に努めます。
- ② グループ就業やローテーション就業、さらに仕事の分かち合い等を通じて、共働・共助の基本理念の実現を図ります。

(3) 安全就業の推進

就業中の事故や就業現場に向かう途中の交通事故等が発生していることから、安全就業現場パトロールの実施等により会員の事故防止に対する意識を徹底し、事故の未然防止に努めてまいります。

- ① 就業現場での「安全就業実施中」の、のぼり旗の掲揚や安全就業ワッペン着用を徹底するとともに、講習会や地域班会、職群班会等において、自主的な健康管理及び安全就業に努めます。
- ② 入会説明会で安全就業の説明を行い、安全意識の徹底を図ります。
- ③ 新たに「会員の事故防止に資するための措置要領」を定め、事故の未然防止に取り組みます。
- ④ センター会員の健康管理のため特定健康診査等の受診・受診報告書（簡易的なもの）の提出の徹底を図ります。
- ⑤ 安全就業推進委員会による安全就業現場パトロールを実施し、安全就業及び安全意識の向上に努めます。
- ⑥ グループ就業時においては、声かけ運動を励行し、ヘルメットや安全帯等の確実な着用により事故の未然防止に努めます。

- ⑦ 地域班会、職群班会等において安全就業の具体策を検討・実施し、安全就業の推進に努めます。
- ⑧ 会員の良好な就業環境を保持するため、高齢者にふさわしい仕事が受注できるように、発注者に対して理解と協力を依頼するとともに、チラシ・リーフレット等により啓発に努めます。
- ⑨ 交通安全関係団体や全シ協・九シ協・県シ連等からの情報を収集し、交通事故や就業中における事故の未然防止に努めます。
- ⑩ 運搬作業に就業する会員には、運転適性検査の実施と特定健康診査等の受診を徹底し、安全点検及び安全就業体制の充実を図ります。
- ⑪ 事故の発生時においては、安全就業推進委員会において、事故発生の分析等を行い、地域班会、職群班会などの機会を通じて、事故内容を報告し注意を喚起し事故防止に努めます。
- ⑫ 事故発生時の迅速な対応を図るため、「事故対応マニュアル」冊子を、関係会員へ配布します。
- ⑬ 備忘録（緊急連絡先等記載）の携行遵守に努めます。

（４）普及啓発活動の推進

- ① 会報「かごしまシルバーだより」、「天保山通信」、市広報紙「市民のひろば」等でセンターの趣旨や事業内容の紹介を掲載してまいります。
- ② センターのチラシ・リーフレットを市役所をはじめ、関係機関団体へ職場内供覧を依頼し、情報提供を行い、普及啓発と受注拡大を図ります。
- ③ 会員の拡大・就業機会の拡大のため、就業開拓スタッフによる事業所や一般家庭への訪問活動を行います。
- ④ 各地域で開催するイベント等でのセンターのチラシ・リーフレット配布等を行います。
- ⑤ 企画提案方式事業の実施を通じて、市民やシルバー会員を含めた世代間の交流を図ると共に、元気な会員の活動などセンターのPRを行います。
- ⑥ **10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間中の取り組みとして**次のことを行います。
 - ア 横断幕・懸垂幕等の掲揚
 - イ デパート等の展示場でのセンター事業の案内及び会員の作品展示
 - ウ 各地域班、職群班における清掃等のボランティア活動
 - エ その他の普及啓発活動
- ⑦ 剪定作業や屋外作業及びボランティア活動においては、のぼり旗を掲げるなど積極的なPRに努めます。
- ⑧ センターのホームページの内容の充実を図ります。
- ⑨ 市をはじめ行政機関・団体と連携し、事業推進の情報収集に努めてまいります。
- ⑩ 「おほら祭り」へ、踊り連として参加し、センター活動の周知と広報に努めます。

(5) 団塊世代の会員の拡大・就業機会の拡大

団塊世代等を対象とした就業支援セミナーの開催や、企業等を退職した人材を発掘登録し、専門的な支援を必要とする企業等とマッチングを実施するなど、就業機会の拡大を図ってまいります。

- ① 就業支援セミナーを開催し、入会者の促進、就業機会の拡大を図ります。
- ② 企業、家庭等への訪問により地域ニーズの情報収集を行います。
- ③ チラシ・リーフレット等により、広報、その他普及啓発活動を行います。
- ④ 会員と利用者とのマッチング及びフォローアップを実施してまいります。
- ⑤ 市雇用相談窓口で、団塊世代等の就労相談を引き続き行います。

(6) 会員交流の促進及び会員福祉の向上

- ① 就業中の事故に備えて、シルバー総合保険に加入し、その対応を図ります。
- ② 会報「かごしまシルバーだより」、「天保山通信」により、センターの事業報告、会員の就業紹介、作品紹介などの情報を提供します。また、会員作品展示や情報交換の場として、「ほほえみサロン」の活用を図ります。
- ③ 「おはら祭り」に参加して、会員相互の交流を図ります。
- ④ 会員視察研修を実施し、会員の資質向上と会員相互の交流親睦を図ります。

(7) ボランティア活動の推進

- ① 地域班、職群班による公共施設等の清掃活動や剪定作業等を実施します。
- ② 地域社会と共に歩むセンターの基本姿勢を踏まえ、引き続き福祉施設への慰問等ボランティア活動を推進します。

6. スローガン

次のスローガンを掲げ、会員、役員、事務局職員が一丸となって、事業運営の推進に努めてまいります。

- まさかより もしもで防ごう 危険予知
- ゆずりあう 心・笑顔の 適正就業

7. 目標

平成 27 年度会員について、加入状況等を勘案しました。

配分金については、実績及び新たな就業開拓に向けた取り組みを勘案し、目標額を掲げました。

- 会 員 **2,600** 人
- 配分金 **7 億 4** 千万円